Japan Geoscience Union Meeting 2011
(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)
©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

O022-09 会場:303 時間:5 月 23 日 10:45-11:00

霧島山新燃岳 2011 年噴火と霧島ジオパーク
Mount Shinmoe 2011 Eruption and Kirishima Geopark

井村 隆介 [1*]
Ryusuke Imura[1*]

[1] 鹿児島大学
[1]Kagoshima University

鹿児島・宮崎両県にまたがる霧島山・新燃岳（1421 m）は，2008 年 8 月に小規模な噴火を起こして以降，断続的に小さな噴火を繰り返していたが，2011 年 1 月 26 日朝より連続的な噴火活動を行うに至った．26 日の 15 時 15 分頃からは，さらに規模の大きな準プリニー式噴火が数時間にわたって続き，広い範囲に軽石質火山レキや火山灰が降った．また，1 月 28 日には火口内に溶岩ドームが確認され，2 月 1 日には爆発的な噴火に伴う空振によってガラスが割れ，けが人が出るなどの被害が生じた．噴火活動の状況をふまえ，周辺自治体では，山への立入規制や道路の通行規制情報の提供など，噴火に対する警戒を地域住民へ呼びかけている．

さて，環霧島地域においては，ジオパーク活動を推進していく中で防災への取り組みにも力を入れてきた．2009 年 3 月には「霧島山火山防災マップ」の作成し，地域住民に配布するとともに，4〜5 月に自治体毎に住民への説明会を行った．今回の噴火で火山に近い地域の人たちの避難が速やかに行われたのは，これらの成果によるものと考えている．また，活火山としての霧島山を知るレクチャーやジオツーリズムも多く企画してきたが，これらを通じて周辺市町村職員や地域の人たちが霧島山のことをよく理解していることが冷静な対応につながっている．

霧島山新燃岳 2011 年噴火はジオパークが防災面でもきわめて重要な役割を持っていることを世界ではじめて示した．

キーワード: 新燃岳, 霧島, 噴火, ジオパーク, 防災
Keywords: shinmoe-dake, kirishima, eruption, geopark, disaster prevention